

第2回 長野県公共交通活性化協議会諏訪地域部会分科会 議事録

[日時] 令和7年5月30日(金)

9時30分～

[場所] オンライン開催

開 会

【全体】

1 あいさつ

2 会議事項

(1) 品質保証分科会(分野別)の進め方 ※資料 01

(2) 保証すべき品質水準事務局案説明 ※資料 02

【分野別】 ※通学→通院→買い物→観光の順番に分野別に意見交換

(3) 意見交換

【諏訪東京理科大】

・ 資料 01 に「保証すべきサービス」「保証すべきサービス品質」「最適」な品質水準とあるが、「サービス」と「サービス品質」はどのように整理されているのか。

→品質自体は全体的な意味を含む

・ 資料 01, 02 において2パターンに分かれている。一段落目はサービスそのものに受け取れる。2段目は品質そのものという印象を受けるが、間違っていないか。

・ 品質保証について、何パーセント達成で保証ができているものと判断するのか、数字的なところは設定しているのか。

→品質とサービスについてはその認識であっている。具体的な数字は設定するものではなく、必ずしも100%を目指すというものではない。

【アルピコ交通労働組合諏訪バス支部】

・ 観光について、運行日が平日のみとなっているが、実際の観光業の方等は土日祝での営業が主なところになっていると思うが、平日のみの運行で良いのか。

→現状の事務局案は、現行路線をベースに考えているものであり、あくまでもたたき台であるため、今後議論の中で土日祝の運行が必要という結論になれば追記すること

なる。

- ・時間についても、6:00～20:00 と設定されているが、実態としては 9:00～18:00 が妥当と考える。これも上記と同じ考えで良いのか。
- 参考資料にあるように、ホームページ等で営業時間を調査し、現状の時間設定とさせていただいている。ご意見いただいたものを事務局案に反映していきたい。
- 今回はあくまで生活路線の見直しを考えている。生活圏外の拠点については、観光路線として別議論での品質保証をしていく可能性があることを認識していただきたい。

通学分野 意見交換

【諏訪二葉高等学校】

- ・方向性としては概ね良い。部活動の関係で土日も必要性を感じるころはあるが、働き方改革の側面でもこのあたりが妥協点とも思える。
 - ・校長会でバス路線に対するアンケート調査を全県で行った。
- (諏訪二葉高等学校生徒の実際の声↓)
- ・家の方面のバスが減り、帰りのバスが存在しない
 - ・帰宅時のバスと時間が合わない
 - ・バスの待ち時間が長い
- アンケート結果提供していただきたい(→了承)

【諏訪東京理科大】

- ・水準の10往復認識について、1高校につき1往復というイメージか
- 現行の岡谷茅野線、スワンバス、穴山原村線の3路線が設定する路線に対して10往復をするもの。その中で地域拠点となる高校における水準を設定する。

通院分野 意見交換

【諏訪中央病院】

- ・当院では午後の外来が増加している。事務局案を見る限り問題ないと思うが、書き方として、現状午前中の通院については保証内容に入っているが、午後からの通院に触れていないため、追記した方がいいのでは
- 文言については、今後相談させていただきながら変更させていただきたい

【岡谷市民病院】

- ・時間帯については概ね良い

【富士見高原病院】

- ・当院についても午後の通院が増えているため、中央病院と認識は同じ

買い物分野 意見交換

【諏訪東京理科大】

- ・ 買い物をしている時間があると思うが、買い物終わりにバスの便があるという理解で良いのか。そのうえで、通院と併用という標記があるが、送り届けて終わりなのか、既に設定されていれば教えていただきたい。

→まず、拠点として設定すべきかという議論をする必要がある。拠点として設定されれば、今後定めた品質を県、市町村内の支線で考えていく必要がある。今回分科会にて食糧品を超えて、幹線での「買い物」を本当に保証していくのか委員の皆様のご意見を聞きたい。

【茅野市】

- ・ 「のらざあ」乗降場所の上位には必ず商業施設がある。そのため、交通弱者の利便性を考慮したときに市としては買い物についても地域拠点とした方が良いと考える。
- ・ あぐりモールふじみは茅野市ではなく富士見町では

【岡谷市】

- ・ 茅野市と同意見、買い物も保証すべきという認識はあるが、幹線よりも支線の方で保証できているイメージもあるため、率直な意見としては支線で保証できているのではという感想

→事務局として考えているのは、岡谷市に近い。食料品であれば各市町村内で商業施設は存在する。商業施設は点在しており、デマンド交通やフィダー路線で保証する市町村のご負担も考慮すると、年に一度買い物に行くような電化製品等のレベルまで引き上げて品質を保証するべきかどうかを検討しており、今回ご意見いただいた次第。

【諏訪市】

- ・ 買い物拠点は概ね良い
- ・ 品質保証の内容は、幹線と支線でカバーしていくという理解はある。幹線から外れる買い物拠点についてどのように考えていくのか疑問はある。

【富士見町】

- ・ 富士見町において幹線は走らないが、現状記載にある通り対応できない保証はデマンド等で保証と表記していただければよい

【下諏訪町】

- ・ 下諏訪町に大型商業施設はなく、特にレイクウォーク岡谷に衣服等を求めて行くケースが多い。そのため、下諏訪から乗れる乗降場所を何点か考慮して検討してほしい

観光分野 意見交換

【岡谷市】

- ・ 概ね拠点は良い
- ・ 岡谷については支線を含めれば十分保証できているという認識

【諏訪市】

- ・ 拠点について、支線・市の公共バス「チョイソコかりんちゃんバス」等でサポートしていきたい。一方で霧ヶ峰の部分は、コミュニティバスでカバーできていないところがあることが今後の課題と認識している

【茅野市】

- ・ 観光客が各市町村内のみで移動するものとは考えていないため、市町村域をまたいだ幹線での品質保証は必要があるものと考えている

【下諏訪町】

- ・ 資料のとおりで問題ない。八島湿原は距離があるためできる限りで考えてもらえばと思っている。諏訪大社については、観光客が多いため考慮して検討してほしい。

【富士見町】

- ・ 拠点自体が山の麓や町から外れていることを課題と認識しているため、町でも今後検討していきたい

【上諏訪駅】

- ・ 記載内容について特段異論はない
- ・ 観光は午前中の特急あずさで来て、17 時以降の便で帰宅する観光客が大半であり、そこから普通列車やバスで移動することが実情であると理解しているため、現状拠点で良いと考える

【アルピコ交通茅野営業所】

- ・ 拠点概ね良い。地域幹線にてすべて網羅することは現実的に難しい。各市町村の支線や当社で運行している季節限定バス等でカバーできれば良い。

【JR バス関東】

- ・ 下諏訪町や茅野市は歩きや自電車での観光が多いが、山側（街はずれ）への観光に課題を感じる。

【中央グリーン観光バス】

- ・現状拠点よし。富士見町でデマンド交通を運行している。沿線の接続ができているのか疑問。他地域、他業者との接続等の連携込みで考えてほしい

【アルピコタクシー】

- ・幹線という言葉に絞ると難しい印象。幹線のみで補填できない部分について、支線についてももう少し詳細に表記した方がいいのでは
- ・観光と買い物は地区内については、支線で保証できているという声があるが、横断は的に移動する人に対しては、市町村間でハブをどうするか等の視点で検討していく必要がある

【アルピコ交通労働組合諏訪バス支部】

- ・幹線のみではフォローできない。支線フィダー路線含めれば現状拠点で問題ない

4 その他

- ・「交通空白」解消の取組について（北陸信越運輸局）

※資料 03